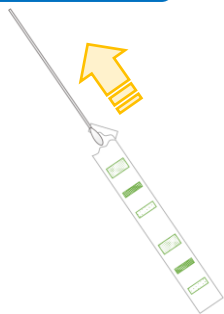


## SARSコロナウイルス抗原キット

イムノアロー<sup>®</sup> SARS-CoV-2 簡易マニュアル

## 操作方法

## ①検体採取



綿棒を袋から取り出す。

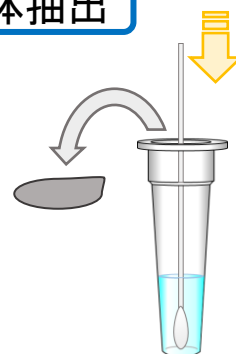
❗ 綿棒に触れないようにしてください



鼻に**2cm程度**滅菌綿棒を挿入し、  
鼻腔壁に沿ってゆっくり**5回程度**回転  
させ、**5秒程度**静置し綿球を湿らせる。

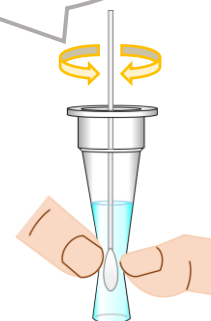
❗ 多量の鼻汁や鼻血が  
つかないようにしてください

## ②検体抽出



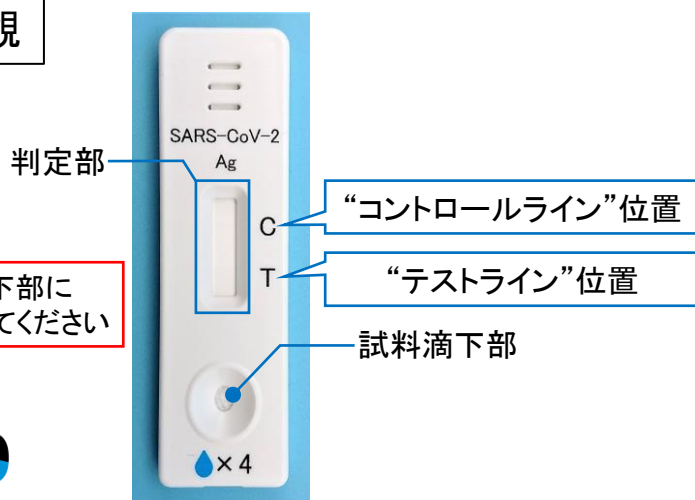
検体希釈液のチューブ封シールを  
はがし、検体採取した綿棒を検体  
希釈液に浸す。

綿球を指ではさみながら、  
左右に**5回程度**回転させる



綿球内の検体をしぼり出しながら、  
綿棒を取り出す。

## デバイス外観



❗ 判定部や試料滴下部に  
触れないようにしてください

## ③試料滴下



ろ過フィルターをしっかりとめ込む。

❗ 奥まで挿さったことを確認してください

試料滴下部の穴に  
真上から**4滴**滴下する



4滴  
滴下

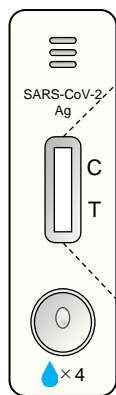


滴下後、安定した水平な  
場所に**15分間**置く。

❗ 滴下量(4滴)を守ってください

## 判定例

**！陽性判定は検体滴下直後～15分経過時点で行ってください**



コントロールライン(C)と  
テストライン(T)の両方が出現



コントロールライン(C)  
のみ出現



コントロールライン(C)  
出現なし

## Q&A

**Q1** 唾液を使って検査できますか？

**A1** できません。鼻腔ぬぐい液を使用してください。

**Q2** 試料滴下から15分経過よりも早くテストラインが出現した場合はどのように判断すればよいですか？

**A2** 15分経過以前にテストラインが出現した場合でも、コントロールラインが出現していれば、陽性判定可能です。  
陰性の判定は15分経過時点で行ってください。

**Q3** 試料滴下から15分以上経過後にテストラインが出現した場合はどのように判断すればよいですか？

**A3** 陽性判定は検体滴下直後～15分経過時点で行ってください。  
15分経過時点では「陰性」で、その後「陽性」となった場合は、「陰性」と判定してください。

・検体希釈液が目や口に入ったり、皮膚に付着した場合は、直ちに多量の水で洗い流してください。異常があれば、医師の手当てを受けてください。  
・小さなお子様の手が届かないところに保管してください。